

海底火山の最近の活動について*

The Recent Activities of Submarine Volcanoes and Volcanic Islands

海上保安庁 海洋情報部

Hydrographic and Oceanographic Department of Japan Coast Guard

前回(第99回)に報告した以後(2004年10月15日から2005年2月15日)の活動状況は、以下のとおりである。

伊豆諸島方面

場 所	年 月 日	調査機関等	活 動 状 況
伊豆東部火山群	2004/10/25	海上保安庁	変色水を認めず。
伊豆大島	2004/10/25	海上保安庁	変色水を認めず。
新島	2004/10/25	海上保安庁	変色水を認めず。
神津島	2004/10/25	海上保安庁	変色水を認めず。
三宅島	2004/10/25	海上保安庁	変色水を認めず。
青ヶ島	2004/10/25	海上保安庁	島の北端、黒埼～黒根にかけて海岸線に沿って長さ約2,000m、幅約200mの緑色変色水を視認した。
明神礁	2004/10/25	海上保安庁	変色水を認めず。
ベヨネーズ列岩	2004/10/25	海上保安庁	変色水を認めず。
白根	2004/10/25	海上保安庁	変色水を認めず。
須美寿島	2004/10/25	海上保安庁	変色水を認めず。

南方諸島方面

場 所	年 月 日	調査機関等	活 動 状 況
海徳海山	2005/2/14	海上自衛隊	変色水を認めず。
	2005/1/21	海上自衛隊	変色水を認めず。
	2004/12/15	海上自衛隊	変色水を認めず。
	2004/11/24	海上自衛隊	変色水を認めず。
福徳岡ノ場	2005/2/14	海上自衛隊	変色水を認めず。
	2005/2/1	海上保安庁	福徳岡ノ場から南東へのびる幅約150m、長さ約500mの黄褐色変色水を視認した。付近に浮流物を認めず。
	2005/1/21	海上自衛隊	福徳岡ノ場から南東へのびる幅約50m、長さ約1,000mの薄い青色変色水を視認した。
	2004/12/15	海上自衛隊	変色水を認めず。
	2004/11/24	海上自衛隊	N24-17, E141-29の地点から西北西にのびる幅約300m、長さ約2,000mの緑色変色水を視認した。
南日吉海山	2005/2/14	海上自衛隊	変色水を認めず。
	2005/1/21	海上自衛隊	変色水を認めず。
	2004/11/24	海上自衛隊	変色水を認めず。

* Received 21 April, 2005

場 所	年 月 日	調査機関等	活 動 状 況
日 光 海 山	2005/2/14	海上自衛隊	変色水を認めず。
	2005/1/21	海上自衛隊	変色水を認めず。
	2004/11/24	海上自衛隊	変色水を認めず。
福 神 海 山	2005/2/14	海上自衛隊	変色水を認めず。
	2005/1/21	海上自衛隊	変色水を認めず。
	2004/12/15	海上自衛隊	変色水を認めず。
	2004/11/24	海上自衛隊	変色水を認めず。

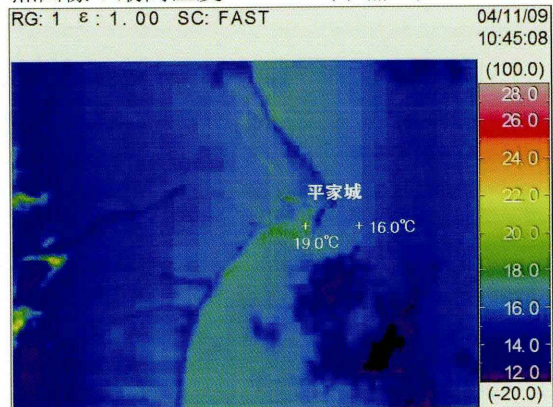
南西諸島方面

場 所	年 月 日	調査機関等	活 動 状 況
桜 島	2004/11/8	海上保安庁	桜島の火口から時折噴煙が立ち上っているのを視認した。
開 聞 岳	2004/11/8	海上保安庁	噴煙等を認めず。
薩 摩 硫 黄 島	2004/11/10	海上保安庁	島の周囲に茶褐色～黄緑色変色水を視認した。また、火口から噴煙が立ち上っているのを視認した。
口 永 良 部 島	2004/11/10	海上保安庁	変色水を認めず。新岳および古岳山頂及び付近に噴煙等を認めず。
口 之 島	2004/11/10	海上保安庁	島の南西側の海岸線に沿って幅 100～400m の黄緑色変色水を視認した。燃岳及び付近に噴煙等を認めず。
中 之 島	2004/11/10	海上保安庁	変色水を認めず。火口及び付近からの噴煙等は認めず。
諏 訪 之 瀬 島	2004/11/10	海上保安庁	変色水を認めず。
悪 石 島	2004/11/10	海上保安庁	変色水を認めず。
横 当 島	2004/11/10	海上保安庁	島の中央部（くびれた部分）の北岸及び南岸に黄緑色変色水を視認した。火口内に噴煙等は認めず。
硫 黄 島	2004/11/9	海上保安庁	島の北西岸に黄緑色変色水を視認した。噴気及び水蒸気は認めず。また、熱計測の結果、火口内の最高温度は、火口外より 36℃高い 52.6℃(未補正)であった。

○薩摩硫黄島（平家城付近） 平成 16 年 11 月 9 日撮影
可視画像



熱画像：最高温度 19.0°C（未補正）

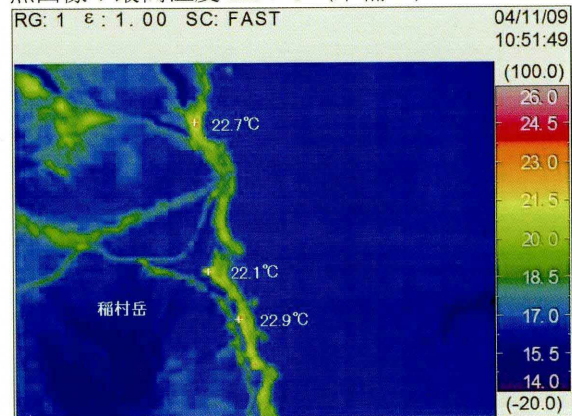


第 2 図 可視画像及び熱分布画像
Fig.2 Aerial photo and thermal image.

○薩摩硫黄島（稲村岳南岸） 平成 16 年 11 月 9 日撮影
可視画像



熱画像：最高温度 22.9°C（未補正）

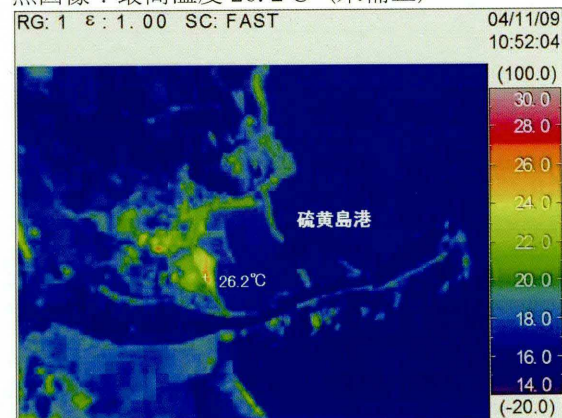


第 3 図 可視画像及び熱分布画像
Fig.3 Aerial photo and thermal image.

○薩摩硫黄島（硫黄島港） 平成 16 年 11 月 9 日撮影
可視画像



熱画像：最高温度 26.2°C（未補正）



第 4 図 可視画像及び熱分布画像
Fig.4 Aerial photo and thermal image.

※ 熱画像撮影機器は、NEC THERMO TRACER TH7102MV。

○硫黄鳥島 平成 16 年 11 月 9 日撮影
硫黄鳥島 (全景)



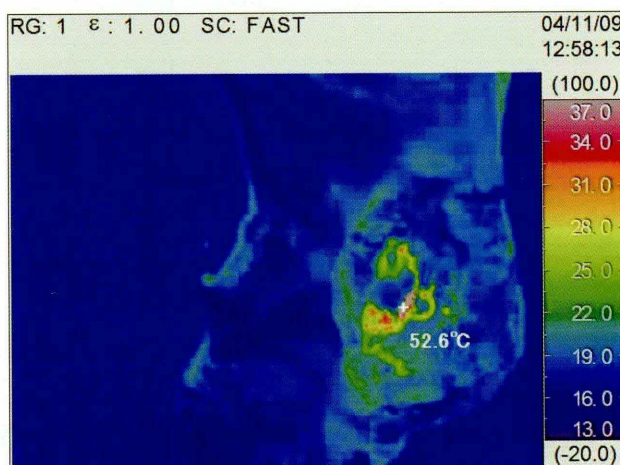
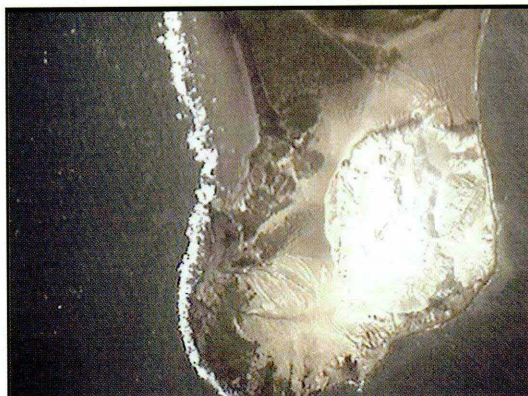
硫黄鳥島 (火口)



第 5 図 可視画像
Fig. 5 Aerial photos.

○硫黄鳥島 (火口) 平成 16 年 11 月 9 日撮影
可視画像

熱画像 : 最高温度 52.6°C (未補正)

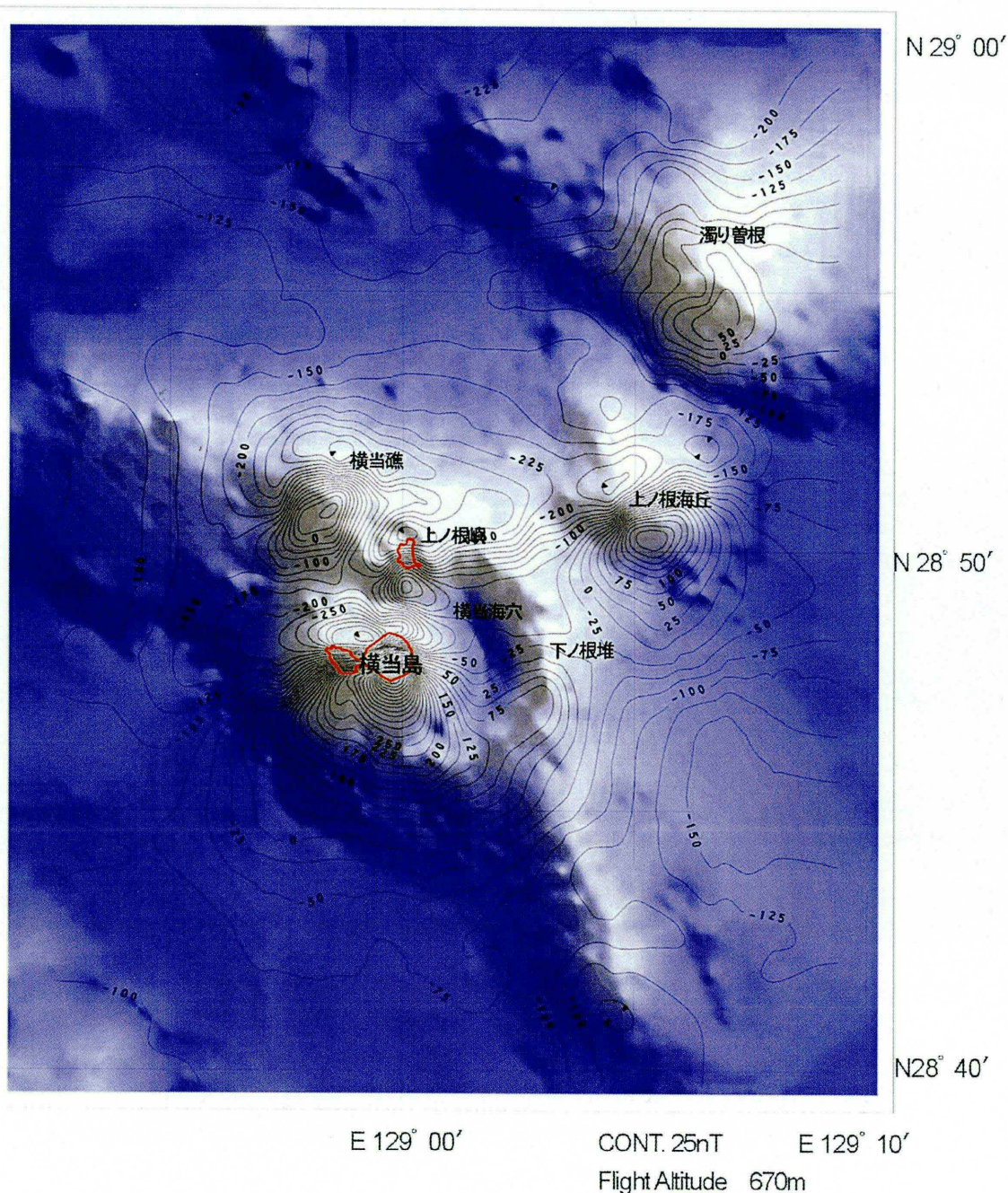


第 6 図 可視画像及び熱分布画像
Fig. 6 Aerial photo and thermal image.

※ 熱画像撮影機器は、NEC THERMO TRACER TH7102MV。

平成16年11月10日及び12日の横当島付近における航空磁気測量の結果、調査海域の磁気異常は、きわめて複雑な分布を示す。即ち、

- ・横当島の東峰（標高495m）、西峰（標高295m）の結合鞍部付近を中心とした+575nT~-325nTのダイポール異常
- ・横当島の北方3Km に位置する上ノ根嶼（標高280m）の+25nT~-325nT のダイポール異常
- ・上ノ根嶼の北西3.4Km にある横当礁（最浅2.2m）の+50nT~-325nT のダイポール異常
- ・上ノ根嶼の東北東8Km にある上ノ根海丘（最浅252m）の+225nT~-250nT のダイポール異常
- ・上ノ根海丘北東8Km に位置する濁り曾根（最浅130m）の+50nT から-200nT の磁気異常である。



第7図 横当島付近全磁力異常図

Fig. 7 Geomagnetic total intensity anomaly in the vicinity of Yokoate Shima.